

《学校の教育課題》
 ・分かり合い、協働してよりよい生活をつくる主体性と自治力の向上
 ・生活に生きて働く学力(思考力、表現力)、豊かな心(思いやり、誠実)、体力(持久力)の向上
 ・小中連携による9年間を見据えた継続的、発展的な学習指導、生徒指導
 ・ICT機器を効果的(学び合いを促すなど)に活用した授業改善
 ・ふるさと輪之内への愛着と誇りを育む「ふるさと教育」の推進

《学校の教育目標》
「ひとりだちのできる生徒」
 ～自ら考え、正しく判断して主体的に行動する生徒～
 《校訓》 **「開拓精神」**
 ・自ら人生を切り拓く強さ、豊かな才能を实らせる。

《輪之内町教育大綱・教育指導の方針》
 ○未来に夢と希望をもち、生きる力を育むふるさと輪之内の教育
 ○仲間の幸せを願い、豊かな心とたくましく生きる力の育成に努め、人間性豊かな教育の実現

〔学校経営の重点〕
 (1)教育課程の最適化(教科等の授業時間数20～30時間増)
 (2)危機管理の徹底(いじめ・不登校解消、教育相談、組織対応)
 (3)学力向上(授業改善、家庭学習の充実、個性伸長・能力開花)
 (4)情報モラル意識の向上(「輪中情報モラル宣言」の徹底)
 (5)学校のスリム化(超過勤務の縮減、3S、部活動の運営改善)

〔目指す学校像〕
「今日も楽しかった。また明日も来たい!」と思える学校
 ★認められている安心感 ★学び合っている充実感 ★成長できた達成感

—さわやかさと活力に満ちた輪中—

〔自治を誇る生徒会活動〕
 ○「伝統の三本柱」(合唱、掃除、福祉)による生活改善
 ○「いじめ・悩み見逃しゼロ」運動の推進
 ○生徒主体の行事活動の充実(体育祭、音楽祭、伝統引継会)
 ○年間を通した「ひびきあい」活動の推進
 ○ボランティア活動を通した積極的に地域貢献

「確かな学力」の育成	「豊かな心」の涵養	「望ましい人間関係」の醸成
<p>◎ 自分の考えをつくり、分かりやすく表現する力</p> <p>＜継続した授業改善＞ ・ねらいを明確にした課題解決的学習の展開(課題一まとめ) ・「三つの見届ける」の徹底(授業終末10分間の習熟活動) ・ICT活用の工夫(協働的な学習を生み出す活用方法)</p> <p>＜学び合う学習集団づくり＞ ・学習規律の徹底(教科の学び方、3分前学習、宿題・忘れ物ゼロ) ・ハンドサインを活用した話合いの組織化(意見、反対、付け足し、まとめ)</p> <p>＜家庭学習の充実＞ ・「学習の手引き」の改善と活用 ・テスト誤答処理の徹底(誤答処理ノートの活用)</p> <p>＜個性伸長・能力開花＞ ・各種コンクール等への積極的な参加(教科学習の発展)</p> <p>＜様々な人材活用＞ ・地域人材を活用した生徒の学習会の開催(補充、発展) ・大学連携(国語/数学)、小中連携(授業研)、中高連携による教職員の教科指導力の向上</p>	<p>◎ よりよいものを求め、誠実にやりぬく心</p> <p>＜道徳の時間を核にした全教育活動を通じた道徳教育の充実＞ ・朝の会、帰りの会で心を語り、心に届く教師の説話の工夫 ・生徒と教師による日常的な「よさ見つけ」、全校で認め合う「じまん交流会」等による所属意識や有用感の高揚</p> <p>＜地域と連携した心を育てる活動の充実＞ ・地域行事(千本桜まつり、ふれあいフェスタ、地区運動会、文化祭等)やボランティア活動(PTA資源回収、グラウンドワーク、大樽川エキスポ等)への積極的な参画 ・「ふるさと教育」「1家庭1ボランティア」運動への参加による地域への誇りと愛着、思いやりと感謝の心の醸成</p> <p>＜道徳科の実施に向けた取組＞ ・全体計画(別業)、年間指導計画の改訂(新内容項目による構成) ・ねらいとする道徳的価値について仲間と深く考え、議論する道徳の時間の展開 ・道徳科(目標、内容、方法、評価)の理解のための校内研修の実施</p>	<p>◎ ちがいを認め合い、分かり合って協働できる関係</p> <p>＜活力ある生徒会活動の推進＞ ・「企画－運営－評価－改善」サイクルに基づく自治活動の充実 ・委員会による常時活動と重点活動の精選 ・語り合う生徒議会、生徒集会づくり</p> <p>＜よりよい生活をつくる学年・学級活動の推進＞ ・生活上の諸課題を見つけ、自分たちの力で解決しようと協働して取り組む行動力の育成 ・学年内、学年間の連携を生み出し、各学級が互いに関わり合っ て共に向上できる活動の工夫</p> <p>＜仲間との深い結び付きをつくり出す部活動の充実＞ ・さわやかな応援の音が響くチームワークづくり</p> <p>＜学級経営の充実(教師の構え)＞ ・一人一人にとことん向き合い、寄り添う教師による関わり ・秩序とリズムをつくり、凝集力のある集団づくり(所属一同調－協力－連帯) ・集団アセスメント(ハイパーQ U)の活用など、客観的データを生かした学級経営</p>
<p>〔生徒指導の3機能の発揮〕 ○自己決定の場 ○自己存在感 ○共感的人間関係 ・人格を尊重し、個性の伸長を図りながら社会的資質や行動力を高める。</p>		

〔セーフティーネットの充実〕 「心のアンケート」(月1回無記名、年3回記名、即日対応)、「教育相談」:定期相談(年3回)、チャンス相談(随時)、「ケース会議」:(随時)組織的対応
 ★SC、SC相、ほほえみ相との情報共有・意思疎通 ★“風通しのよい”相談室運営(生徒・教職員) ★関係機関との連携(西教事、子相、町教委、福祉部局、民生児童委員、病院、警察等)

<p>《防災教育》 ・命を守る訓練 ・町部局、消防団等との連携</p>	<p>《健康安全教育》 ・体力(持久力)向上 ・生活習慣の改善 ・自己管理能力</p>	<p>《環境教育》 ・郡上研修(1年) ・河川清掃ボランティア ・PTA資源回収</p>	<p>《キャリア教育》 ・わのうち未来塾 ・職場体験(2年) ・高校見学、体験入学</p>	<p>《福祉教育》 ・福祉学習(3年) ・福祉ボランティア ・町社協との連携</p>	<p>《人権教育》 ・生徒主体の「ひびきあいの日」の取組</p>	<p>《情報教育》 ・輪中情報モラル宣言 ・町、小中、PTAとの連携 ・ICTの活用</p>	<p>《国際教育》 ・英語スピコン、英語プロモ等への参加 ・カナダ研修</p>	<p>《主権者教育》 ・町選管との協力(投票箱の利用) ・町議会の傍聴</p>
---	--	---	--	---	---	---	---	---

平成29年度 輪之内町立輪之内中学校 学校経営の方針と重点

《輪之内町教育大綱・教育方針》

- ◎未来に夢と希望をもち、生きる力を育むふるさと輪之内の教育
- 仲間の幸せを願い、豊かな心とたくましく生きる力の育成に努め、人間性豊かな教育の実現

《教育目標》

ひとりだちのできる生徒

～ 自ら考え、正しく判断して主体的に行動する生徒 ～

《校訓》

開拓精神



- 自らの人生を切り開いていく強さを身に付け、豊かな才能を实らせて欲しい

〔目指す学校像〕

「今日も楽しかった。また明日も来たい！」と思える学校

★ 認められている安心感 ★ 学び合っている充実感 ★ 成長できた達成感

— さわやかさと活力に満ちた輪中 —

○「豊かな心」の涵養（よりよいものを求め、誠実にやりぬく心を育てます。）

- ・生徒と教師が一人一人のよさを認め合うことを通して、自己存在感や自己有用感を育てます。
- ・教師は、生徒の気持ちや思いを汲み取り、一人一人の心に届く価値付けや励ましに努めます。
- ・生徒が地域行事やボランティア活動に積極的に参画して地域貢献に取り組み、地域への誇りと愛着、思いやりと感謝の心を育てます。

○「確かな学力」の育成（自分の考えをつくり、分かりやすく表現する力を育成します。）

- ・身に付けさせたいことをはっきりさせ、生徒が互いに協働しながら学習課題の解決を図る授業をつくります。
- ・生徒自らが学習規律(学び方、3分前学習、宿題・忘れ物ゼロ)を徹底に取り組みます。
- ・ハンドサイン(意見、反対、付け足し、まとめ)を活用して話し合ったり、ICT(プロジェクター等)を活用したり、習熟度別少人数指導を取り入れたりするなど、指導方法の工夫改善に取り組みます。

○「望ましい人間関係」の醸成(ちがいを認め合い、分かり合って協働できる関係を育てます。)

- ・「いじめ、悩み見逃しゼロ」運動を推進し、いじめの問題や不登校生徒の解消に取り組みます。
- ・伝統の三本柱(合唱、掃除、福祉)を中心にした生活改善に取り組むとともに、生徒相互が語り合う活動を大切にして、温かい人間関係をつくります。
- ・学級や部活動では、さわやかな応援の音が響くチームワークづくりに取り組みます。

《皆さんの力で、輪之内町の将来を担う輪中生の育成をお願いします！》

〔学校〕意図的・計画的な指導によって、知徳体をバランスよく育成する。

〔家庭〕家族の愛情に裏打ちされた子育てによって、豊かな人間性を養う。

〔地域〕地域の一員としての関わりによって、社会性や公共性を育む。

《家庭・地域との連携》

- 学校の教育活動を積極的に発信し、地域に開かれ、信頼される学校を目指します。
- 生徒の成長に軸足を置いた教職員と保護者、地域の皆さんとの協力体制を
- 青少年育成等の関係機関、団体との連携協力による指導・支援の充実